

私たちは日々、さまざまな場面で税金を払っています。それらは主に社会保障に役立てられ、私たちの身のまわりを支えています。しかし、現在日本では少子高齢化が将来にとって重要な問題であり、この問題を解決しなければ私たちは社会保障のために多くの税金を払わなければなりません。なので、私たちが今できることを実行し、未来につなげるべきです。

その一つ目として、私たちが今の日本の状況をよく理解することがあげられます。少子高齢化が進行しているということがわかっていたとしても、その深刻さに気づいて協調性をもたなければ何も変わりません。現在、高齢者をおよそ二人で支えています。三十年後にはおよそ一人で支えていかなければならなくなってしまう、さらに厳しい状況となります。未来の私たちのためにも、今の状況を理解することが大切です。

二つ目は、健康寿命をのばすことです。健康寿命をのばすことで、少子高齢化の解決に一步近づけます。そのために私たちができることは、生活習慣病の予防や規則正しい生活を送る、適度な運動をすることなどがあげられます。近年、中学生の睡眠時間の低下が問題となっているので就寝時間を早めるべきだと思います。また、これから先大人になって飲酒や喫煙にも気をつけるべきだと思います。

最後は、地域での支え合いです。人々が支え合ってつながりを保つてくることが一番大切なのではないかと思います。この、つながりをつくるためには、地域のイベントや活動に参加することで深まってゆきます。地域のつながりというのは、少子高齢化や税金の上昇を抑えるだけでなく人とのコミュニケーションをとることができます。そして、場合によっては災害のときに、高齢者の命を救える可能性が大きくなり、それは健康寿命をのばすことや高齢者のことを知るということにもつながってきます。さらには、子育ての問題点も地域で支え合えば、負担を軽減でき、子育てのしやすい環境づくりができます。最終的には、少子高齢化の問題の解決となり、多くの税金を払うというリスクを抑えられるということにつながります。

今回、少子高齢化と税金について、私たちが生活していく中でできることが多くあるということを知りました。また、問題解決のためにできことは難しいことではないので、多くの人が取り組み、解決する日は近いと思います。一つの取り組みをすることで、他の取り組みにもつながってくるので、誰でも行動にうつしやすいと感じました。今、私ができることを実行して、よりよい未来のために貢献していきたいです。また、今回学んだことを周りの人にも伝え、多くの人が協調性をもって、問題解決していくことが、社会問題を解決していく中で大切なことだと思います。